

# 静岡中部

SHIZUOKA  
shizuoka@mainichi.co.jp

## 静岡支局

〒420-0035  
静岡市葵区七間町8の20  
☎054(254)2671  
FAX054(254)2675  
浜松支局  
〒432-8025  
浜松市中区栄町302の17  
☎053(453)2181  
FAX053(453)2182  
沼津支局  
〒410-0804  
沼津市西条町19  
☎055(962)0204  
FAX055(964)0225  
富士通信部  
☎0545(52)1500

## 広告は

☎054(262)8870

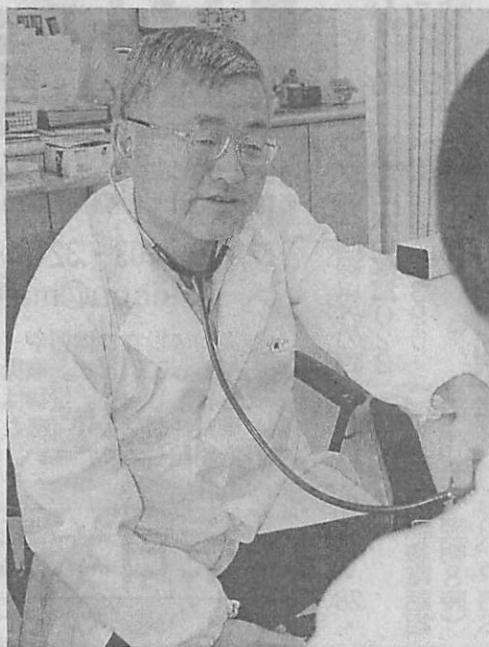
## 購読は

☎0120-468-012

静岡 255-2231  
興津 369-0424

ひと  
しづおか

外国人の無料検診を続ける医師



えのもと循環器・内科院長。家族は妻と義理の母。休日は落語を聞いたり、講演会に足を運ぶ。健康のため、自宅から40分歩いて通勤している。静岡市葵区在住。

11月中旬の日曜日、ブラジルや中国などさまざまな国籍の人たちが静岡厚生病院(静岡市葵区)へ訪れた。本来なら休診だが、この日は14回目となる、県中部在住の外国人を対象とした無料検診会の日。通訳を通じて母国語で医師と話せるとあって、多くの受診者が「腰が痛い」「血圧は大丈夫か」と身体の悩みについて相談した。

98年から内科医の仕事の傍ら、「外国人のための無料健康相談と検診会」の実行委員会代表と

えのもと ふる お 梶本信雄さん(61)

して奔走している。「言葉の問題、保険の問題を抱える外国人の健康管理の一助になれば」と話す。検診会に関わるように

なったのは「子どものPTA活動を通じて知り合った市議から」「浜松市で同様の検診会が行われている。静岡市でもぜひやりたい」と誘われたのが

きっかけだった。元々外国人医療には関心があったが、普段の診療に追われて手が回らなかつた。それで手が回らなかつた。

「チャンス」と思った。最初の検診会は、医療機関ではなく、県総合社会福祉会館で行った。「機材を借りたり運び込んだ

の資金は、カンパやバザ

ー、チャリティーコンサートの収入でまかなうが、毎年資金繰りは苦し

い。昨年は、費用面から血

# 必要な人いる限り続ける

液検査を見合わせたが、今年は静岡済生会病院の協力を得て再開した。

大分県別府市の生ま

れ。シュバイツァーの伝記を読んで「誰にでも分

け隔てなく手をさしのべ

るになりたい」と思い、

看護師、通訳はみなボラ

ンティア。検査費用や機

材を借りたり運び込んだ

した。75年から研修医と

して静岡厚生病院で勤務

し05年、静岡市葵区で自

分の医院を開業し独立し

た。

最近気になるのは、無料検診会を訪れる外国人が激減したこと。毎年100人前後が来ていたが、リーマン・ショックの影響で多くの人が帰国したのか、昨年、今年は半分程度。「県中部にはまだ8000人の外国人が住んでいるという。無料検診会が必要な人がいる限り、続けていきたい」と語った。【小玉沙織】